

2021年度 第3回岐阜県U15 バasketボール選手権大会 兼 Jr. ウィンターカップ第2回全国U15Basketボール選手権大会岐阜県予選会 新型コロナウイルス対策ガイドライン

1) はじめに

「2021年度 第3回岐阜県U15Basketボール選手権大会兼Jr. ウィンターカップ第2回全国U15Basketボール選手権大会岐阜県予選会新型コロナウイルス対策ガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、JBA(公益財団法人日本Basketボール協会)Basketボール活動再開に向けたガイドライン第4版」を参照し、作成しております。なお、今後、状況に応じて、本ガイドラインについても見直すことがあり得ることにご留意ください。

2) 基本方針

本ガイドラインの策定にあたっては、以下の項目を基本方針として掲げました。

(1) 安全最優先

生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供します。今大会は無観客での実施とします。

(2) 「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

Before コロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計します。

(3) FIBA 再開ガイドライン

FIBA(国際Basketボール連盟)より再開におけるガイドラインが公開されており、Basketボール競技の特性を考慮しながら作成します。

(4) 不当な扱いや差別などの禁止

感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱う事はせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。

3) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者の定義

(1) 「陽性者」とは

以下の症状の有無にかかわらず、「PCR 検査・抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

～新型コロナウイルス感染症が疑われる症状～

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

(2) 「濃厚接触者」とは

陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。**濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。**

- ①陽性者と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
- ②適切な感染防護無しに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者
- ③陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者

- ④手で触れることの出来る距離(目安として1m)で、必要な感染予防策なしで、陽性者と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)

(3) 「体調不良者」とは

以下の目安に該当する方と考えられます。

厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。

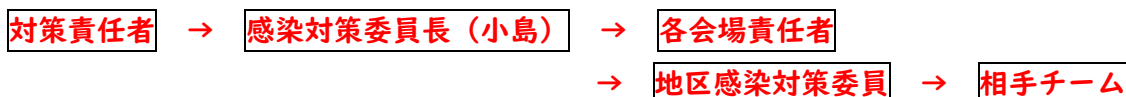
- ①息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- ②重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状等がある場合
- ③比較的軽い風邪が続く。

※発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

4) 感染対策チーム責任者の設置

・参加チームは感染対策チーム責任者(以下対策責任者)を設置してください。

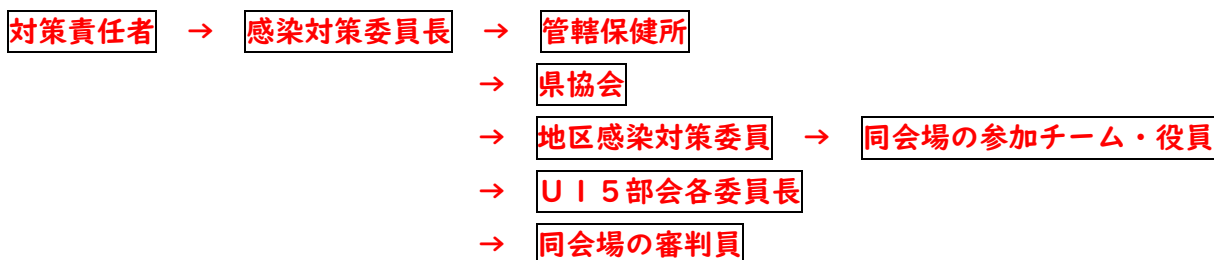
○対策責任者は、大会への不参加が決定した場合、以下の連絡系統で報告する。



※不参加が決定した場合は、相手チームに連絡(地区感染対策委員より)し、その後の対応を指示する。

○対策責任者は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

※役員で陽性者が出た場合も同様とする。



※感染対策委員長は各地区感染対策委員に連絡をし、その後の対応を指示する。

※感染対策委員長は管轄保健所からの指示について県協会へ報告する。

○対策責任者は、大会2週間前にチーム内で体調不良者・濃厚接触者・陽性者が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。

※対策責任者は日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことが大切です。



共通理解を図る

5) 健康チェック表への記録と管理

- ・スタッフ、選手等、大会の参加者は、大会が開始される2週間前から「健康チェック表及び参加同意書（個人）」で健康状態を観察・記録する必要があります。対策責任者は管理を行ってください。
- ・大会開催日ごとに対策責任者は、必要書類を本部にご提出ください。

※会場に入場する選手・スタッフ全員の「健康チェック表及び参加同意書（個人）」をチーム代表者に提出し、「健康チェック表及び参加同意書の提出（提出用）」の提出が必要になります。

※「健康チェック表」で異常がある場合、当日の体温が37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、感染対策委員長まで御報告ください。

※御報告頂いた内容・御相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。

【体温測定、体調チェック】

体温測定:選手、チームスタッフ、帯同審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードの推奨

- ・大会参加者は大会開催約2週間前までに、厚生労働省が開発した陽性者との接触を確認するためのアプリ(COCoA)をインストールし、陽性者との接触が無いか確認することを推奨します。参加者がCOCoAによって濃厚接触者と発覚した場合は、対策責任者は上記の連絡系統を参照し、連絡してください。

【参考】厚生労働省:新型コロナウイルス接触確認アプリ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

※所属する選手・スタッフ全員（帯同審判を含む）の体温のチェックをお願いします。

※必ず対策責任者はチームの健康状態の管理を行ってください。選手・スタッフ全員は健康観察を毎日行うことが必須となります。

※事前にU15部会HPからEXCELファイルをダウンロードして、ご記入ください。

7) 感染または、感染の疑いがある場合の報告事項

【参加資格】

(1) 選手、チームスタッフ・帯同審判は大会2週間前から当日において、以下に該当しないこと。

- 1 37.5℃以上の発熱がある
- 2 咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある
- 3 だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある
- 4 臭覚や味覚の異常がある
- 5 体が重く感じる、疲れやすい等がある
- 6 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- 7 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 8 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※ 上記に該当した際は、主催者にて大会参加を取り消す場合があります。地区感染対策委員にご相談ください。

- (2) 「チーム内に感染が疑われる者がいない」そして「試合を行うための選手のコンディションが整っている」の2つの条件が最低限揃うこと。

【その他通知要項】

- (1) 大会への出場権を得たチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。
- (2) 各チームの新型コロナウイルス感染対策責任者は、大会当日に健康チェック表兼参加同意書（提出用）を受付で提出し、会場への入場許可をもらうこと（検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合がある）。感染対策責任者は入場時と退場時に必ず本部に寄ってください。
- (3) 「上記【参加資格】の（1）」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であったとしても出場資格を取り消す場合がある。
- (4) 出場する試合の2週間前から、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と試合への出場を不可とする。加えて当該チームのチーム責任者は、前述の体調不良者との濃厚接触者を確認し、大会本部と協議のうえ、非接触者と断定できる選手が5名以上揃わない場合は不戦敗とする。また、体調不良者が発生した後で、保健所等の判断を仰ぐにあたり、その後の大会運営等に大きな支障をきたす場合は大会を中止する場合がある。
- (5) ワクチン接種の副作用により、発熱・倦怠感を生じる可能性があり、コンディション低下に繋がる可能性があります。比較的若年者に副反応は、強く出る傾向があると報告されていますが、少なくとも参加の1週間前には接種しないことを推奨します。理由として、発熱が参加可否判断になり得るためです。参加時には4日前からの発熱の有無を確認しますが、この際に発熱が生じている場合にワクチン接種の副反応によるものか、感染による発熱なのかの区別がつかないため、発熱(37.5度以上が目安)が生じていれば参加不可とします。よってワクチン接種証明があってもそれだけで参加可能とはしません。
- (6) 政府や県から新たな措置（緊急事態宣言や自粛要請等）が発出された場合は大会を中止する場合がある。また不可抗力により、出場チームから辞退が発生した際は、男女あわせて8チーム以上（大会参加チームの10%）に至った場合、大会主催者にて大会中止を検討し、中止可否を決定後速やかに参加チームに通知する。

※ 大会を中止する場合の要件

- ・緊急事態宣言中において会場確保が困難になった場合
- ・（一財）岐阜県バスケットボール協会より実施不可の指示が出た場合
- ・大会を実施するのに十分な練習期間が保てないと判断した場合

8) 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

- ・マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- ・手指消毒液など、試合や練習では利用者・関係者が多く使用できるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。
- ・スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。

※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があると言われておりますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。

- ・タオルの共有はしない。
- ・ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。

(1) 諸室

- ・各部屋に手指消毒液を設置する。
- ・全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・座席を設置する際に前後左右1.5 m ~間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・喫煙所は設けない。

(2) 手洗い場所・トイレ

- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。
- ・手指消毒液を設置する。

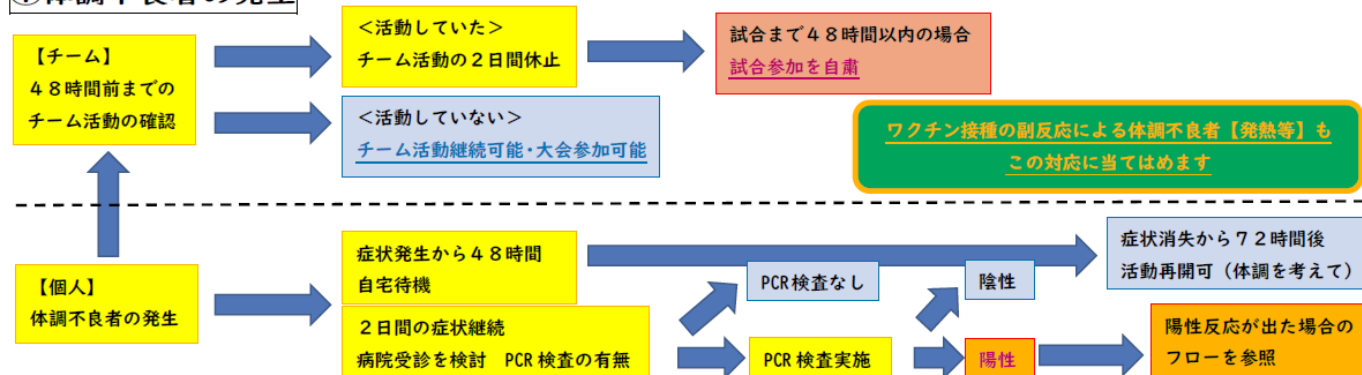
(3) 更衣室・ロッカールーム

- ・広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。
- ・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については消毒する。
- ・換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。
- ・利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。使用中の会話は控える。

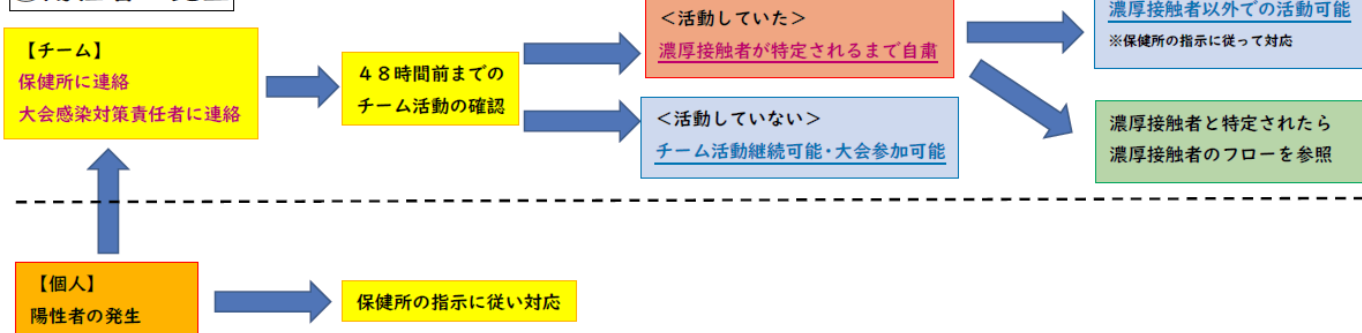
9) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応

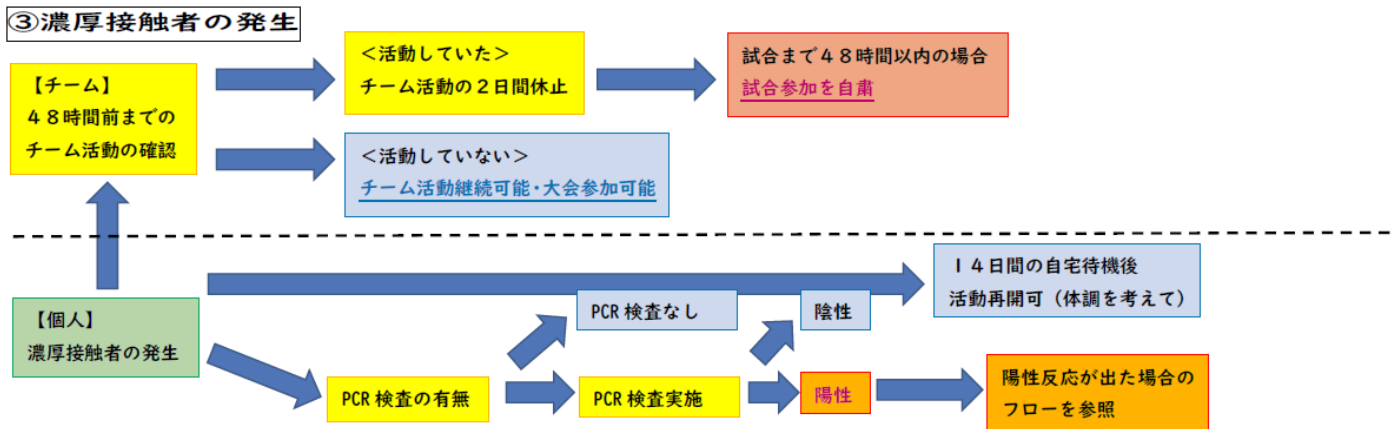
[参加判断フロー]

①体調不良者の発生



②陽性者の発生





※対戦した相手チームから、対戦後体調不良者が出た場合は、この限りではない。

対戦相手の体調不良者がPCR 検査を実施 → 結果が出るまでは活動不可

対戦相手の体調不良者がPCR 検査陰性 → 活動可能

対戦相手の体調不良者がPCR 検査陽性 → 活動不可 → 保健所の指示で対応

対戦相手の体調不良者がPCR 検査実施なし → 活動可能

※PCR 検査の実施の有無に関しては、受診した医療期間の指示に従うこと。

10) 移動・宿泊

(1) 移動

- ・市町村間での移動の制約が出た場合、チーム代表者に相談の上、自治体の指示に従ってください。
- ・大会開催前後の移動は最小限にしてください。県境をまたぐ移動については慎重に判断してください。
- ・移動の際は、チーム単位、個人単位で予防対策徹底してください。
- ・移動中の会話は極力避けてください。
- ・移動中、移動後の手指消毒、手指衛生等に気をつけてください。

①個人での移動について

- ・公共交通機関を利用しないことが推奨されます。
- ・自家用車などで移動する場合も、乗り合わせを避け、個人でのアクセスが推奨されます。
- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。

②タクシーでの移動について

- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。
- ・移動中は出来るだけ窓を開け換気を行ってください。
- ・極力会話を避けてください。
- ・乗車前、降車後に手指消毒を行ってください。

③バス（借入バス・マイクロバス）での移動について

I バス会社への依頼事項

- ・事前の車内消毒
- ・運転手の体調管理。マスクや手袋の着用。

II バス使用時の留意点

- ・使用するバスのサイズにもよりますが、バス内の人数を減らす（隣り合った座席は1席空けるなど）た

め2時間以上などの長時間のバス移動の際には、個人単位でも予防対策をしてください。

Ⅲ その他注意事項

- ・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。
- ・移動中は出来るだけ窓を開け換気を行ってください。（1時間に3回の換気が推奨されています）
- ・極力会話を避けてください。
- ・乗車前、降車後に手指消毒を行ってください。
- ・座席は隣同士での使用を避けてください。（2席横並びの場合、どちらかの席を空ける）
- ・空調などを使用し、バス内の空気の循環を良くしてください。
- ・サービスエリア等での休憩時もマスクの着用など感染予防対策を行ってください。

（2）宿泊

- ・なるべく大部屋は避け、ソーシャルディスタンスの確保、クラスターの可能性を避ける対策をとってください。
- ・一般客と交わる可能性のある大浴場の利用はなるべく避けてください。

（3）食事

- ・会場内での食事はしないことを最優先にしてください。（控室や更衣室含む）
- ・会場内で食事をせざるを得ない場合は、食事前後の手指衛生、うがい並びに環境整備（換気、椅子、テーブルの消毒）をその都度行い、複数人や対面での食事、食事での会話を避け、飛沫感染予防に徹底すること。

（2）ミーティング

- ・基本的にWeb 会議などをメインにして、極力対面を避けるように心がけてください。
- ・対面でのミーティングを行う場合は極力人数を絞り、常に社会的距離(できるだけ2m、最低1m)が取れる広い場所で行い、換気をこまめに行ってください。
- ・ミーティングを行う際は、出席者全員マスクを着用してください。

11) 大会開催期間中の留意点

- ・無観客での実施とします。
- ・コロナウイルス感染防止のため、大会前・大会期間中は自チームでの活動のみとしてください。
- ・「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策を行うと共に、会場内では更衣室、ベンチ等、他のチームも利用する場所の除菌には十分留意してください。

※ベンチ、更衣室等、使用した箇所の消毒は各チームでお願いします。会場作成の際、使用する可能性のある場所には、すべて消毒液を設置すること。

※各チームでも消毒を実施しますが、役員も試合ごとにトイレ、更衣室の消毒を実施してください。

- ・各チーム1日1ゲームとします。
- ・役員もできる限り滞在時間を減らす努力を行ってください。
- ・会場には試合開始時刻30分前から入場できます。ハーフタイムのアップはできません。会場へは前のチームがいなくなってから入ることができます。同じ時間帯に試合をするチームがすべて集まっている場合は、会場時刻を早めることがあります。会場へは試合開始の1時間前を目安に集合してください。それ以前に集合することがないよう十分注意してください。

- ・試合間を2時間10分に設定し、試合後に消毒、換気の時間を確保します。
- ・試合前のコート上でのアップは30分（入場開始時間から）確保します。
- ・会場の入場時に、対策責任者は健康チェックシート兼参加承諾書、体温チェックシートを受付で提出し、入場許可を受けてください。入場許可後は、消毒を行って入場をお願いします。
- ・試合が終了したら、速やかに会場を出るように心がけてください。退場時も消毒をお願いします。
- ・T0は以下のように実施する。前後半での交代はしない。実施時には、マスクを着用すること。準備が可能な場合は、フェイスシールド、手袋を着用すること。コートキーパー（モップ）に関しては、当該チームで担当する。

※担当チームでもT0以外の選手は会場内には入らない。

- ・T0に必要な人員は「タイマー」「ショットクロックオペレーター」「スコアラー」「アシスタントスコアラー」「T0主任（指導者）」以上の5名となる。
- ・マスクはチームまたは個人で持参し、使い捨てマスクの場合、使用後は全てのごみとともにビニール袋に入れて持ち帰ってください。
（参加受付時や、着替え時等のスポーツを行っていない際や、会話をする際にはマスクを着用する）
- ・消毒用アルコールは主催側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、使用用具の消毒を実施してください。
- ・ベンチを離れるときやベンチに戻るときには各チームで手指の消毒を行うこと。
- ・可能であれば、アップ中・試合中のマスク着用を推奨する。
- ・手拭き用のタオル等は各自持参してください。
- ・リュック等の荷物はまとめて、ベンチ裏に置くようにしてください。
- ・各選手がベンチに持ち込む荷物を個別に分ける袋やかごを用意することを推奨する。
- ・会場内での食事はしないでください。
- ・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手・あいさつは実施しません。
- ・ハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
- ・ボトル、タオルを共有しないで各自で用意、使用してください。
- ・ベンチではマスクを着用し、声による応援・会話を控えてください。
- ・サイドライン／ベンチにおいても適切なソーシャルディスタンスを確保してください。
- ・体調不良者がいた場合は、大会の辞退を促します。対策責任者は事前に、出場辞退になることもあり得る旨を、選手・保護者に十分説明をしておくこと。
- ・会場入場時の検温に関しては、徹底してください。

～参加者が会場で遵守すべき事項～

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる。
※該当する場合には参加ができない場合があります。
- ア. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- イ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合
- ウ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。)
- 会場内で大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。
- 利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

～参加者がバスケットボールの以外の運動・スポーツを行う際の留意点～

- 十分な距離を確保すること。
- 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)
- 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。
- 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- タオルの共用はしないこと。
- 飲食については、熱中症等のリスクも踏まえつつ指定場所で行い、周囲の人となるべく距離を取って対面を避けること。また、飲食中の会話は控えめにすること。

【感染対策委員長】	小島 佑太 (部会長)	
【感染対策副委員長】	田中 学 (副部会長)	
【地区感染対策委員】	上野 時弘 (岐阜)	杉山 一志 (西濃)
	奥村 幸一 (東濃)	木島 京子 (可茂)
	小畑 藍 (美濃)	高堂 信昭 (飛騨)